

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	オブティガード ZT
デザインコード	A9795H
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSE グループ
電話番号	03-6221-1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
急性中毒の緊急問い合わせ先	日本中毒情報センター 中毒 110 番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪 (365 日・24 時間): 072-727-2499 つくば(365 日・24 時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(Syngenta 負担): 大阪 (365 日・24 時間):072-726-9923 つくば(365 日・24 時間): 029-851-9999
推奨用途	殺虫剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 (神経系)
水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報: H371 臓器 (神経系) の障害のおそれ
 H400 水生生物に非常に強い毒性
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

- 【安全対策】 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
- 【応急措置】 P308 + P316 ばく露またはその懸念がある場合: すぐに救急の医療措置を受けること。
 P391 漏出物を回収すること。
- 【保管】 P405 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 P501 内容物/容器を都道府県/政令指定都市等の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
 知見なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	CAS No.	含有量 (%)	官報公示整理番号
3-[(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イル)メチル]-5-メチル-N-ニトロ-1,3,5-オキサジアジナン-4-イミン (別名:チアメトキサム)	153719-23-4	20.0	5-6844 / 8-(7)-1280

4. 応急措置

- 一般的アドバイス 緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
- 吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
- 眼に入った場合 直ちに多量の水で 15 分間以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診断、手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。無理に吐かせない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	特定されていない。 知られていないか予想されない症状。 臓器（神経系）の障害のおそれ
医療関係者への情報	専用解毒剤は入手できない。 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある（「10. 安定性及び反応性」参照）。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
有害燃焼副産物	炭素酸化物（CO, CO ₂ ） 窒素酸化物（NO _x ） 塩素化合物 硫黄酸化物（SO _x ）
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。 河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及び機材除去	漏出物を封じ込めて不燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライトなど）で吸収して容器に入れ、地域/国の規制に従って廃棄する（「13. 廃棄上の注意」を参照）。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭くこと、溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	<p>取扱いの際は適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。</p> <p>取扱い時には飲食、喫煙をしない。</p> <p>製品の飛散、漏出等がないようにする。</p> <p>ラベルをよく読んでから、保管・使用する。</p>
接触回避	知見なし。
保管	
安全な保管条件	<p>容器を密閉して換気の良い冷暗所で容器を密閉して保管する。</p> <p>小児の手の届く所には置かない。</p> <p>食品や飼料と区別して保管する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
チアメキサム	153719-23-4	TWA	5 mg/m ³	Syngenta (2025 年)

設備対策	<p>ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる。</p> <p>保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。</p> <p>空気濃度を職業ばく露基準以下に保つ。</p> <p>必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求めること。</p>
------	--

保護具

呼吸用保護具	<p>作業者がばく露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。</p>
--------	---

保護マスク

手の保護具

材質	ニトリルゴム
破過時間	> 480 min
手袋の厚さ	0.5 mm
備考	

保護手袋を着用すること。適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。破過時間は、素材の特徴の中でも、手袋の厚さと種類によって決定されるので、その時々測定されなければならない。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
-------	-------------------------

ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具	適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。
------------	---

汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。

耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	類白色～褐色
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5～7 (1 % w/v)
蒸発速度	データなし
かさ密度	データなし
自然発火温度	データなし
最低点火温度	データなし
溶解度	
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.11 ～ 1.15 (20 °C)
相対ガス密度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
自己発熱性化学品	データなし
表面張力	データなし
最低点火エネルギー	データなし
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の下条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の下条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、分解しない。
混触危険物質	知見なし。

危険有害な分解生成物 通常の条件下では生成しない。
加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の
情報 飲み込んだ場合
吸入
皮膚接触
眼に入った場合

急性毒性
区分に該当しない。

製品

急性毒性(経口) LD50(ラット,メス): > 2,000 mg/kg
急性毒性(吸入) LC50(ラット): > 5.39 mg/l
ばく露時間: 4 h
急性毒性(経皮) LD50(ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg

成分

チアメキサム

急性毒性(経口) LD50(ラット, オスおよびメス): 1,563 mg/kg
急性毒性(吸入) LC50(ラット, オスおよびメス): > 3.72 mg/l
ばく露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮) LD50(ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

皮膚腐食性/刺激性

製品

種 ウサギ
結果 軽度の刺激性があるが、区分には該当しない。

成分

チアメキサム

種 ウサギ
結果 皮膚刺激なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品

種 ウサギ
結果 眼刺激性なし。

成分

チアメキサム

種 ウサギ
結果 眼への刺激性なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品

皮膚感作性

種 モルモット
 結果 皮膚感作性なし。

呼吸器感作性

区分に該当しない。

成分

チアメキサム

種 モルモット
 結果 皮膚感作性ではない。

生殖細胞変異原性

区分に該当しない。

成分

チアメキサム

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

発がん性

区分に該当しない。

成分

チアメキサム

発がん性 - アセスメント 区分に該当しない。

生殖毒性

区分に該当しない。

成分

チアメキサム

生殖毒性 - アセスメント 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

臓器(神経系)の障害のおそれ。

チアメキサムを20%含有するため、特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2(神経系)に該当とした。

成分

チアメキサム

アセスメント 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2(神経系)に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分に該当しない。

成分

チアトキサム
アセスメント 区分に該当しない。

誤えん有害性
区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品

水生生物に非常に強い毒性。
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

成分

チアトキサム

魚毒性	LC50(Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性(急性毒性)	EC50(Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/ ばく露時間: 48 h EC50 (フタバカゲロウ属): 0.014 mg/l ばく露時間: 48 h EC50 (Chironomus riparius (ユスリカ)): 0.035 mg/l ばく露時間: 48 h
藻類/水生植物に対する毒 性	ErC50(Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 81.8 mg/l ばく露時間: 72 h NOEC(Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 81.8 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h
M-ファクター(水生環境有害 性 短期(急性)) 魚毒性(慢性毒性)	10 NOEC (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l ばく露時間: 28 d 試験タイプ: 流水式試験 NOEC (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 20 mg/l ばく露時間: 88 d 試験タイプ: 初期生活段階
ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性(慢性毒性)	NOEC (Daphnia magna (オオミジンコ)): 100 mg/l ばく露時間: 21 d NOEC (Chironomus riparius (ユスリカ幼生)): 0.01 mg/l ばく露時間: 30 d
M-ファクター(水生環境有害 性 長期(慢性)) 微生物に対する毒性	10 EC50(活性汚泥): > 100 mg/l ばく露時間: 3 h

残留性・分解性

生分解性 容易に分解されない。

成分

チアトキサム

生分解性
水中での安定性
結果: 易分解性ではない。
分解半減期: 11 d
備考: 製品は持続性ではない。

生体蓄積性
生体内蓄積性は低い。

成分
チアメキサム
生体蓄積性
n-オクタノール／水分配係数
(log 値)
備考: : 低い生態蓄積性。
log Pow: -0.13 (25 °C)

土壌中の移動性
土壌中の移動性は中程度

成分
チアメキサム
環境中の分布
土中での安定性
備考: 中程度
消失時間: 51 d
消失割合: 50 % (DT50)
備考: 製品は持続性ではない。

オゾン層への有害性
非該当

他の有害影響
成分

チアメキサム
PBT および vPvB の評価結果
物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しない。
廃棄物を下水へ排出してはならない。
可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用の方が好ましい。
リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。

汚染容器及び包装
残りの内容物を空にする。
容器は3回すすぐ。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

国連番号
UN3082

国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (チアトキサム)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送

国連番号	UN3082
国連輸送名	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s (チアトキサム)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9 その他有害性物件
梱包指示(貨物機)	964
梱包指示(旅客機)	964
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送

国連番号	UN3082
国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (チアトキサム)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
EmS コード	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

緊急時応急措置指針番号 171

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

該当しない。

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2(則 34 条の 2 別表2))

化学名	含有量(%)	備考
チアメキサム	20	2027年4月1日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条(則 30 別表2))

化学名	備考
チアメキサム	2027年4月1日以降

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第 594 条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第 1 種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量(%)
チアメキサム	615	20

高压ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 有害液体物質には該当しない

個品輸送 海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質 (法第 2 条 4 項、施行令第 3 条の 3)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物 (化管法第一種指定化学物質を含む)

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。

JIS Z 7252, JIS Z 7253 2025 に準拠

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品 (当該製品) に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

改訂履歴

改訂年月	項目	改訂箇所および内容	改訂理由
2026年3月	1項	使用上の制限追加	安衛法改正による見直し
	2項	GHS分類の見直し	NITE GHS分類の更新 JIS Z 7253-2025 対応
	4項	急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候 症状記載追加	—
	5項	有害燃焼副産物追加	—
	15項	名称等を通知/表示すべき危険物及び有害物 (アゾキシストロビン)追加	安衛法改正による見直し
	16項	その他の情報文言追加	